

新年のごあいさつ 伊豆の国市の さらなる発展



伊豆の国市長
望月良和

明けましておめでとございます。市民の皆様には、ご家族おそろいにて輝かしい新春をお迎えのことと拝察申し上げます。

わが伊豆の国市は誕生以来四年目を迎え、いよいよ充実度を増してきました。これも、五万市民の皆様の暖かいご支援ご協力の賜物であり、特に災害対策や子育て支援、交通安全対策、住環境の整備、公園整備などのハード事業、各種のイベントや賑わいづくり事業などに大きな成果があったと思っております。

心より、厚くお礼申し上げます。

今年の干支は『子』。ネズミです。ネズミは衣類や食品をかじるため、『やつかいもの』といったマイナスイメージがありますが、一方

で、すぐに子ネズミが増え成長することから子孫繁栄の象徴でもあります。また昔から、『白いネズミ』は大黒天の使いである『福の神』として伝えられています。少子化時代の『子』の年に、なんとかこの『白いネズミ』を呼びこみ、少子化に歯止めをかけたいものです。

本市の歴史をひもとくと、北条早雲の干支が『子』で、こんな逸話が残されています。ある夜、早雲は二本の大きな杉の根もとをかじっているネズミの夢を見ました。そのネズミはとうとう杉を倒し、虎に化けたとうとうとです。『二本の大きな杉』とは、扇谷上杉氏と山内上杉氏でした。この夢で、早雲は関東に進出し、両上杉氏を倒す決心をしたといわれています。

明けましておめでとございます。平成二十年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、全国各地での食品偽装表示、建築物の強度不足など、日々の生活の安全・安心がおよびや

かされる大きな社会問題も、耳新しいところがございます。自然災害につきましては、今の地球温暖化による異常気象や環境の変化による影響は、世界規模で起こり、身近な農作物にも現れているようです。また、大雨による被害等も全国各地で発生しました。本市においても、九月の台風九号による被害が発生し、災害復旧は予算補正をして敏速な対応が図られました。

加えて、大地震発生への不安も残ったままです。公共施設の

減少していくという現実を迎える中で、本市の市政運営は、伊豆の国市総合計画に基づき進められております。この総合計画では、市の将来像の実現に向けたまちづくりの『基本理念』や『戦略』、『基本方針』を掲げており、市の向かうべき方向と取り組みの方針を示しております。そして現在、平成二十年度予算編成の最終段階を迎えておりますが、市の財政状況は、三位一体改革の影響による歳入減などにより非常に厳しい状況下にあります。

私も、『子』年の早雲にあやかり、強い決意で伊豆の国市行財政改革大綱に基づく改革を推進し、健全な行財政運営により、市民の皆様に応えていけるような市政を執つてまいります。

また、昨年も行いました市政懇談会でのご意見や各区からの要望書、市長へのメッセージ。議会のチエック機能を十分に發揮していかなければならないと考えます。地方分権が今後さらに推進されたならば、私たちは自らの手によって、創造性豊かで確かな施策をもって、まちづくりをしていかななくてはならないと考えるからです。

市の将来像である『自然を守り、文化を育む、魅力ある温泉健康都市』の実現を目指し、市民の声を聞き、調査・研究を重ねて審議を深め、施策や事業に反映される提案や行政の計画に適切な指摘を行い、議会の責任と役割を果たしていきたいと考えます。今後とも、市民の皆様の暖かいご支援、ご協力をお願い致します。

結びに、市民の皆様が、ご健勝でご活躍される素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

まちづくりご意見箱に寄せられるご提案なども参考にさせていただきますながら、本市の重点課題と財政状況を踏まえ、知恵を搾り創意工夫をし、限られた財源の中で最大の効果を挙げるよう努力をさせていただきます。引き続き、市民の皆様様の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の子年

今年の干支は、第一番目の干支、『子』ネズミです。『漢書』律曆志によると、『子』は『孳』(ふえるという意味)で、新しい生命が種子の中に兆し始める状態を表していると言います。

動物のネズミもまた、その繁殖力の強さから子孫繁栄の象徴とされており、後に、覚えやすくするために、『子』に動物の『ネズミ』が割り当てられました。

『子』年に関しては、こんな昔話があります。

その昔、神様が十二支の動物を決めるとき、神様の家の前に来た順番に決めることにしました。ウシは動きが遅いからと真っ先に出かけ、一番に門の前に着きました。しかし、門が開けられるとき、ウシの頭の上に乗っていたネズミがウシの前に飛び出たので、ネズミが一番になったといわれます。



ちなみに、そのときネコも十二支に入れてもらおうと準備していたのに、ネズミが集合の日をわざと間違えて教えたため、十二支に入ることができませんでした。それで今でもネコはネズミを追いかけ回すのだそうです。



伊豆の国市議会議長
飯田史朗